

古市さんの
世界のイベント会場を歩く



第1回

「Web Summit」を 語らぬ訳にはいかぬ

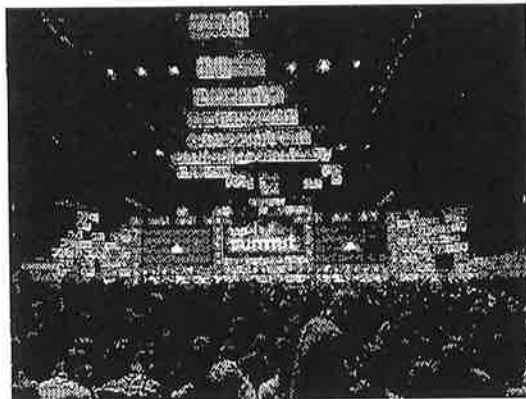
こんにちわ。コムエキスポジアム・ジャパンの古市優子です。フランス・パリに本部を置く展示会主催者の日本法人で代表を務めています。仕事柄、グループ内外の主催イベントを渡り歩いており、年間20回程度の海外展示会に参加します。そこで見た、印象に残るポイントイベント業界の方々に向けてお伝えします。

さて、ここ数年で、一番、驚かされたイベントといえば「Web Summit」に他なりません。Connected Intelligenceというアイルランドの会社が2006年から開催しており、ウェブ界隈のエンジニア、経営陣、投資家らが集まります。トロント、香港など世界数都市で開催されていますが、一番大きく、驚かされたのは、ポルトガル・リスボンでの開催でした。

何がすごいのか。いろいろありますが、10万円前後の参加チケットをリスボン空港で提示したら、そこから展示会場まで、電車もバスもフリーパスで乗れるのです。リスボン市からVIP待遇されている感覚です。イベント警備を担当するのは、警察官で、市を挙げて参加者を迎え、初めての人でも安心して過ごせる環境を整えてくれます。

リスボン市がそこまでするのは、「Web Summit」にはVIP待遇したくなる人たちが集まるからです。誰もが知る世界規模のIT企業で働くエンジニアや経営陣、あるいは彼らにプレゼンを試みるスタートアップの経営者や投資家たちが集

「海外の展示会を歩かせたら、日本で3本の指に入る(かも)」と豪語する、コムエキスポジアム・ジャパン(東京都港区)の古市優子社長が、「なるほど!」と思わず膝を打ったイベントを、主催者目線でレポートします。



▲2019年11月にリスボンで開催された「Web Summit」には163カ国から7万人が集まりました

まります。彼らが毎年集まるエンジニアの聖地としてブランディングを図るのが、市の戦略という訳です。

主催者目線で感心させられたのは、チケットの金額設定のシステムです。会期が近づくにつれてだんだん高くなっていきます。日本の有料イベントの場合は、早期割、通常料金、当日料金の3段階が多いと思いますが、「Web Summit」に限らず、海外では何段階も設定されているものを、よく見かけます。来期の日程が決まってもいなくちから、チケットだけは販売が始まっていたりします。その場合は、半額以下に設定されていたりするのです。リピーターの参加者にとってお得な、良い設定だと思えます。

「Web Summit」では、まだまだたくさんポイントを発見してきました。次回も続きをご案内します。



古市優子

フランスに本社を置く、展示会主催会社の日本法人、コムエキスポジアム・ジャパン社長。